

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
観光専門課程	旅行学科トラベル専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科ツアーコンダクター専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科トラベルプランナー専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科国内旅行専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科トラベルカウンター専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科海外旅行専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科ビジットジャパン専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	観光ビジネス学科国際観光サービス専攻（昼間部）2年制	夜・通信	960 時間	80×2=160 時間	
	鉄道サービス学科（昼間部）2年制	夜・通信	2112 時間	80×2=160 時間	
	エアライン・エアラインサービス学科（昼間部）2年制	夜・通信	800 時間	80×2=160 時間	
	エアポート学科（昼間部）2年生	夜・通信	896 時間	80×2=160 時間	
	ホテル学科ホテル専攻（昼間部）2年制		1440 時間	80×2=160 時間	
	ホテル学科テーマパークホテル専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1440 時間	80×2=160 時間	
	ホテル学科レストラン&バーテンダース専攻（昼間部）2	夜・通信	2016 時間	80×2=160 時間	

	年制				
	ホテル学科おもてなし ビジネス専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	1280時間	80×2=160時間	
	カフェービス学科ハテシエ 専攻(昼間部)2年制	夜・ 通信	864時間	80×2=160時間	
	カフェービス学科バリスタ 専攻(昼間部)2年制	夜・ 通信	768時間	80×2=160時間	
	カフェービス学科カフェー ビス専攻(昼間部)2 年制	夜・ 通信	768時間	80×2=160時間	
	ブライダル学科ブライダル フラワー専攻(昼間部)2 年制	夜・ 通信	1760時間	80×2=160時間	
	ブライダル学科ウェディング プランナー専攻(昼間 部)2年制	夜・ 通信	2336時間	80×2=160時間	
	ブライダル学科ブライダル ビューティ専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	2176時間	80×2=160時間	
	ブライダル学科ドレススタイ リスト専攻(昼間部)2 年制	夜・ 通信	2112時間	80×2=160時間	
	ブライダル学科海外ウェ ディング専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	2336時間	80×2=160時間	
	葬祭ディレクター学科(昼 間部)2年制	夜・ 通信	640時間	80×2=160時間	
	外国語コミュニケーション学 科(昼間部)2年生	夜・ 通信	1792時間	80×2=160時間	
	I T観光学科(昼間 部)2年制	夜・ 通信	2992時間	80×2=160時間	
(備考) I T観光学科 2022年新設					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町3-21）にて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 II部夜間部 旅行学科・ホテル学科・ブライダルビジネス学科

(困難である理由)

夜間部に入学を希望する方の需要が減ったため、平成25年4月より募集停止

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP 掲載の事業報告書 P.8 にて公表。

URL:<http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R3jigyohoukoku.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学院教授（現職）	2018. 4. 1～ 2025. 8. 4	経営戦略の立案・助言
非常勤	株式会社取締役（現職）	2017. 11. 15 ～ 2025. 4. 1	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
(作成について)	
<p>各授業科目については、毎年度、職業実践専門課程に基づき学科での会議（教育課程編成委員会）を実施し授業科目の設定・講義内容を検討・検証後、学内の会議で承認。その後、各授業を担当する教員により、作成を行う。</p> <p>学内統一様式を使用し、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び予定予算を全科目共通で記載する。</p>	
(時期について)	
<p>翌年度の講義予定は10月に担当教員が作成し12月の学内会議で承認後決定。4月上旬に学内での閲覧を開始する。</p>	
授業計画書の公表方法	東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学生ハンドブックにおいて、学内の成績評価・卒業要件について規定している。各期、各科目ごとに出席評価、試験評価（レポート、作品、実技等含む）などによって総合的に評価を行っている。</p> <p>当該科目の授業について出席率70%未満の学生及び、試験未受験者の場合は、成績評価の対象外とし履修単位の認定を行わない。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験等）によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90をA、89～70をB、69～60をCとして、成績が通知される。</p> <p>全科目の合計点を各生徒が履修済みの総科目数で除した数を平均点として算出する。</p> <p>成績評価方法は、学内で誰でも閲覧でき、入学時に配布する学生ハンドブックで通知する。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

東京観光専門学校は実社会に通用する「人財」を育成・輩出することを目的としたカリキュラムを実施している。卒業要件については、学生ハンドブックにおいて基本科目 128 単位すべてを受講し 108 単位以上の修得と各学科で定める卒業要件を満たすことが定められている。詳細については、全学生配布の学生ハンドブックに記載している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）
にて閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R3taisyaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R3sonekikeisan.pdf
財産目録	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R3zaisan.pdf
事業報告書	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R3jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R3kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科トータル専攻	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1568 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	992 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		19人	1人	4人の内数	4人の内数	8人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	20人 (87.0%)	3人 (13.0%)
(主な就職、業界等) 東武トップツアーズ(株)、(株)阪急トラベルサポート、(株)びゅうトラベルサービスなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	28人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失、健康上の理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 ツアーコンダクター専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1568 単位時間/単位	992 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2560(単位時間)/単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30人	6人	1人	4人の内数	4人の内数	8人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 東武トップツアーズ(株)、(株)阪急トラベルサポート、(株)びゅうトラベルサービスなど			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 トラベルプランナー専攻（1年） ツアープランナー専攻（2年）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1568 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	992 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	4人の内数	4人の内数	8人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	7人 (63.6%)	4人 (36.4%)

(主な就職、業界等) 東武トップツアーズ(株)、(株)阪急トラベルサポート、(株)びゅうトラベルサービスなど
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	2人	11.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 国内旅行専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1568 単位時間 / 単位		992 単位時間 / 単位		2560 単位時間 / 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	3人	1人	4人の内数	4人の内数	8人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 トラベルカウンター専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1568 単位時間 / 単位	992 単位時間 / 単位	2560 単位時間 / 単位		

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	0人	0人	4人の内数	4人の内数	8人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 東武トップツアーズ(株)、(株)阪急トラベルサポート、(株)びゅうトラベルサービスなど			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 海外旅行専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 <u>単位時間</u> / 単位	1568 <u>単位時間</u> / 単位	単位時間 / 単位	992 <u>単位時間</u> / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 <u>単位時間</u> / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		0人	0人	4人の内数	4人の内数	8人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (0%)	人 (0%)	人 (0%)
(主な就職、業界等) 東武トップツアーズ(株)、(株)阪急トラベルサポート、(株)びゅうトラベルサービスなど			

(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 ビジットジャパン専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1568 単位時間 /単位		992 単位時間 /単位		
			2560(単位時間)/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	3人	3人	4人の内数	4人の内数	8人の内数		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要)
 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。
 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	2人 (100%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	2人	50.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	観光ビジネス学科 国際観光サービス専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1888(単位時間)/単位	講義	演習	実習	実験	実技
			2016 単位時間 /単位	640 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		2656(単位時間)/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人の内数	71人	62人	4人	9人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全16回の授業の中で、7回終了時に小テストを実施し学生の理解度の把握に努めている。また、出席・成績不良者には担任教員が面談を行い学習状況の改善及び支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
97人 (100%)	13人 (13.4%)	46人 (47.4%)	38人 (39.2%)
(主な就職、業界等) 強羅花壇、J C I T(株)、ホテル小田急、藤田観光(株)など			
(就職指導内容) 「履歴書、エントリーシート添削」「面接対策」「グループディスカッション対策」 「業界研究」「SPI対策」など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 全国通訳案内士、旅程管理主任者、旅行業務取扱管理者、世界遺産検定、TOEIC 日本語能力試験、ビジネス日本語能力テスト、ニュース検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
180人	27人	15.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		観光専門課程	鉄道サービス学科	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼	1792(単位時間)/単位	2208 単位時間 /単位	704 単位時間 /単位	704 単位時間 /単位
			2912(単位時間)/単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
380人	204人	0人	7人	8人	15人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて担当教員による時間外や補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担当教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
131人 (100%)	0人 (0%)	117人 (89.3%)	14人 (10.7%)
（主な就職、業界等） ① 鉄道（JR各社、関東私鉄各社） ② バス（東武バス、関東バスなど） ③ 航空業界（グランドハンドリング各社）			
（就職指導内容） SPI（言語・非言語）、エントリーシート添削、面接指導、業界研究、プレゼンテーション指導、資格取得など			
（主な学修成果（資格・検定等）） サービス介助士、旅行業務取扱管理者、運行管理者、話しことば検定、地理検定など			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
254 人	15 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	エアライン・エアラインサービス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1856 単位時間 / 単位	2016 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	544 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		19 人	0 人	3 人の内数	9 人の内数	11 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 各授業にて担当教員による時間外や補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担当教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	3人 (9.7%)	20人 (64.5%)	8人 (25.8%)
(主な就職、業界等) 羽田空港サービス、(株)日本トラフィックサービス、(株)グラテック (株)インテックスなど			
(就職指導内容) 「就職対策」エントリーシート通過のための文章表現力 「面接対策」 「グループ ディスカッション対策」など			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、サービス介助士、AXESS検定（国内、国際） マナープロトコール検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	4人	8.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	エアポート学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1728 単位時間 / 単位		288 単位時間 / 単位		
			2016 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		17人	0人	3人の内数	9人の内数	10人の内 数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (0%)	人 (0%)	人 (0%)	人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) SPI（言語・非言語）、エントリーシート添削、面接指導、業界研究、プレゼンテーション指導、資格取得など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 乙4種危険物取扱			
(備考)（任意記載事項） 2021年新設のため卒業生無し。			

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ホテル学科ホテル専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1888 単位時間 / 単位		1184 単位時間 / 単位		
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	47人	9人	5人の内数	20人の内数	25人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46人 (100%)	0人 (0%)	38人 (82.6%)	8人 (17.4%)
（主な就職、業界等） （株）ミリアルリゾートホテルズ、ヒルトンホテル、 ANAインターコンチネンタルホテル東京など			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	7人	8.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		観光専門課程	ホテル学科 テーマパークホテル専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1760 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1312 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		47人	2人	5人の内数	20人の内数	25人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	22人 (88.0%)	3人 (12.0%)
(主な就職、業界等) (株)ミリアルリゾートホテルズ、ヒルトンホテル、 ANAインターコンチネンタルホテル東京など			

(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) レストランサービス技能士(HRS)・ホテルビジネス実務検定など
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	1人	1.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ホテル学科 レストラン&バーテンダー専攻 (1年) バーテンダー・レ ストランサービス専攻(2年)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1472 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3072(単位時間)/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		20人	2人	5人の内数	20人の内数	25人の内 数	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	9人 (75.0%)	3人 (25.0%)
(主な就職、業界等) ㈱ミリアルリゾートホテルズ、ヒルトンホテル、 ANAインターコンチネンタルホテル東京など			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
(備考)（任意記載事項） 2020年新設のため卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務	観光専門課程	ホテル学科おもてなし ビジネス専攻	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習

2年	昼	1920	1408	1088		
			単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間 /単位	2496			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人	6人	6人	5人の内数	20人の内数	25人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	4人 (28.6%)	1人 (7.1%)	9人 (64.3%)
（主な就職、業界等） （株）ミリアルリゾートホテルズ、ヒルトンホテル、ANAインターコンチネンタルホテル東京など			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	5 人	20.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	カフェサービス学科 パティシエ専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 / 単位	1760 単位時間 / 単位	1312 単位時間 / 単位	3072 単位時間 / 単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人	1 人	1 人	1 人の内数	6 人の内数	7 人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) レストラン、カフェ等の料飲業界など			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果(資格・検定等)) レストランサービス技能検定・フードコーディネーター検定・フードアナリスト検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	2人	50.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	カフェサービス学科 バリスタ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1664 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1408 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3072(単位時間)/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人		3人	1人	1人の内数	6人の内数	7人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (0%)	人 (0%)	人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能検定・フードコーディネーター検定・フードアナリスト検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	2人	100%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	カフェサービス学科 カフェサービス専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792(単位時間)/単位	2208 単位時間 /単位	単位時間 /単位	896 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3104(単位時間)/単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
5人	1人	0人	1人の内数	6人の内数	7人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能検定・フードコーディネーター検定・フードアナリスト検定 など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%

(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科 ブライダルワーカー専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間 / 単位	1152 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1408 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		5人	0人	2人の内数	14人の内数	17人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)

(主な就職、業界等) 八芳園、(株)ベストブライダルなど 式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなどブライダル業界
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 3級ブライダルコーディネーター技能検定、秘書検定 レストランサービス技能士など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	6人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ブライダル学科ウェディング プランナー専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位		1440 単位時間 / 単位		単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	22人	0人	2人の内数	14人の内数	16人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	13人 (92.9%)	1人 (7.1%)
(主な就職、業界等) 八芳園、(株)ベストブライダルなど 式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなどブライダル業界			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 3級ブライダルコーディネーター技能検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ブライダル学科 ブライダルビューティ専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1792(単位時間) / 単位	講義	演習	実習	実験	実技
			1184 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1760 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2944(単位時間) / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	1人	0人	2人の内数	14人の内数	16人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 八芳園、(株)ベストブライダルなど 式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなどブライダル業界			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 3級ブライダルコーディネーター技能検定、秘書検定 レストランサービス技能士など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20.0%

(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科 ドレススタイリスト専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間 / 単位	1216 単位時間 / 単位		1728 単位時間 / 単位		
			2944 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		2人	0人	2人の内数	14人の内数	16人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60.0%)	2人 (40.0%)

(主な就職、業界等) 八芳園、(株)ベストブライダルなど 式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなどブライダル業界
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 3級ブライダルコーディネーター技能検定、秘書検定 レストランサービス技能士など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	1人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科 海外ウェディング専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1440 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任員数	総教員数	
10人		0人	0人	2人の内数	14人の内数	16人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (0%)	人 (91.7%)	人 (8.3%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 3級プライダグコーディネータ技能検定、秘書検定 レストランサービス技能士など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	葬祭ディクター学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間 / 単位	1408 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1024 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2432 単位時間 / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	38人	1人	1人	4人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	17人 (100%)	人 (0%)
（主な就職、業界等） ㈱家族葬のファミリー、㈱くらしの友など 葬儀会社、湯灌・納棺会社、セレモニーフラワー会社など			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 葬祭ディレクター2級、サービス接遇など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	2人	6.0%

(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	外国語コミュニケーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	4864 単位時間 / 単位		704 単位時間 / 単位		
			5888 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		81人	0人	2人	15人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	7人 (33.3%)	7人 (33.3%)	7人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 総合警備保障(株)、(株)グラテックなど			

(就職指導内容) S P I (言語・非言語)、エントリーシート添削、面接指導、業界研究、プレゼンテーション指導、資格取得など
(主な学修成果(資格・検定等)) T O E I C、T O P I K、H S Kなど
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65 人	11 人	17.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	I T 観光学科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 / 単位	2384 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	800 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3184 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		4 人	0 人	1 人	0 人	1 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募種類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内旅行業務取扱管理者、ホテルビジネス実務検定 情報セキュリティマネジメント試験、ITパスポート試験など			
(備考) (任意記載事項) 2022年度新設の為卒業生無			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
旅行 (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
観光ビジネス (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
鉄道サービス (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
エアライン (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
エアポート (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
ホテル (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
カフェサービス (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
ブライダル (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
葬祭ディレクター (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
外国語コミュニケーション学科 (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
I T観光学科 (1年)	150,000 円	900,000 円	330,000 円	教育充実費・施設費他
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.tit.ac.jp/about/files/information_disclosure.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者として、関係企業、協会、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は理事会、学校運営委員会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益財団法人協会 理事	2022. 4. 1～2024. 3. 31	協会
一般社団法人 理事長	2022. 4. 1～2024. 3. 31	協会
特定非営利活動法 理事長	2022. 4. 1～2024. 3. 31	協会
旅行会社 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	企業
航空会社 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	企業
ブライダル業 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	企業
料飲業 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	企業
旅行会社	2022. 4. 1～2024. 3. 31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tit.ac.jp/about/files/information_disclosure.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tit.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		51人	49人	51人
内 訳	第Ⅰ区分	31人	27人	
	第Ⅱ区分	14人	14人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				－人
合計（年間）				52人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。